



学校だより

No.14

自ら学び考えることができる生徒 感性豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康な生徒

大田区人権教育研究協力校

令和2年3月19日

大田区立糎谷中学校

校長 小島 宏一郎

卒業式を終えて ～素晴らしかった3年生～ 校長 小島宏一郎

3月19日、桜の花が開き始めた春の佳き日に、無事に第66回卒業式を挙行いたしました。今年度は、新型コロナウイルス拡大防止のための臨時休業中で、卒業生と保護者、教職員のみ参加の式典となりました。

卒業生は、全く式の練習をしないまま当日を迎え、式直前に3年の先生から式の流れや作法の説明を受けて、短時間の簡単な練習をただけでしたが、大変立派な態度で式に参列し、卒業証書を受け取りました。3年間の様々な思いを、「別れの言葉」に続く合唱「群青」に込めて、しっかりと歌い上げ、感動の卒業式にしてくれました。

「式辞」、卒業生代表の「別れの言葉」、在校生代表の「送る言葉」を掲載します。

「式 辞」

突然に訪れた2月28日の最後の授業日から幾日過ぎたでしょうか。いつもの三月とは違う生徒のいない静かな学び舎にも、麗らかな春が訪れ、校庭の桜のつぼみもふくらみ始めました。今日の佳き日に、第66回卒業式を無事に迎えることができたことを心から嬉しく思います。

150名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今、皆さん一人一人にお渡した卒業証書には「中学校の全課程を修了したことを証する」と書かれています。短い文章ですが、ここに3年間の学校生活で学んだこと、身に付けたことの全てが込められています。卒業証書を手にすることができたのは、皆さん一人一人の努力の結果であることはもちろんですが、ご家族の励ましや深い愛情、地域の方々のご支援、担任の先生の熱心な指導をはじめ、多くの方々の支えがあったからであることを忘れないでください。

私が皆さんと過ごしたのは、僅か1年間でしたが、この間に皆さんは、いつも気持ちよく挨拶を交わしてくれました。そして、行事や委員会、部活動では、最高学年として一生懸命に取り組み、学校を活気づけてくれました。今、晴れやかな表情で前に座る皆さんを見ると、改めて1年間の活躍が思い起こされます。

令和への改元を祝う長い休みを挟み、修学旅行と並行して準備を進めてきた体育祭では、競技だけでなく、行進、開閉会式、応援、係の仕事と、全てにわたり真剣に取り組み学校を引っ張ってくれました。最後の体育祭を成功させようという皆さんの熱い思いが伝わってきたのを憶えています。

また、10月に行われた生徒発表会での合唱も、私の心に強く残っています。自分たちで相談しながら表現を工夫し、練習を重ね、クラスならではの「最高の舞台」を作り上げました。本番の合唱は、どのクラスも大変素晴らしく、心から感動させられたことを思い出します。

様々な行事での、こうした皆さんの姿は、1・2年生に「私たちもあんな3年生になりたい。」という、あこがれと目標を与えてくれました。糎谷中の歴史に確かな足跡を残し

くれた皆さんに改めて感謝の気持ちを伝えます。本当にありがとうございます。

さて、卒業生の皆さんの門出にあたり、二つのことをお話ししたいと思います。

一つめは、「夢をもち、挑戦する」ということです。

今年の1月、長野県出身のシェフ 小林さんが日本人で初めてミシュランの最高ランクである三つ星を獲得しました。中学卒業後、長野と東京の料理店で働いた小林さんは、21歳でフランスに渡り、約10年の修業の後、パリに自分の店を出しました。

小林さんが三つ星を獲得した後にこんな話をしています。

「年間1万人訪れるお客さんに「来てよかったな」と感じて帰っていただけることを一番に考えています。」そして、「外国人である自分に惜しげもなくフランス料理の技術を教えてくれたフランスに感謝しています。」

日本人の小林さんが、フランスでシェフとして認められるには、大変な努力が必要だったことでしょう。そして、その努力を続ける原動力は、「誰かのために」という相手を支える気持ちと、「自分がしてもらったこと」に対する感謝の気持ちなのではないかと思います。

二つめは「何が正しいかを考えて行動する」ことです。

昨年12月に、アフガニスタンで現地の人々の支援に精力的に取り組んでいた医師の中村哲さんが銃撃されて亡くなりました。戦争が続き不安定なアフガニスタンで、医師である中村さんが医療支援以上に力を入れて取り組んだのが、飲料水や農業用水確保のための井戸掘りと灌漑事業です。

20年ほど前に始まった大干ばつで、アフガニスタンは猛烈な被害を受けました。六百万人が飢え、百万人が餓死寸前です。中村さんはその状況を自分で見て、「飢えや乾きは薬で治すことはできない。薬を買うお金があれば、そのお金でたくさん井戸を作って水や食べ物を確保することがまず大切である。」と考えて行動したのです。

中村さんは、情報化が進んだ今の社会を危惧し、こんなことを話しています。

(2面へ続く→)

(→1面より)

「最近は通信・交通手段の発達に支えられ、どこでも、いつでも、さっと行けるが、インスタントになればなるほど、理解が浅くなりやすい。分かったつもの分だけ、分からないよりも害が大きい。」

簡単に情報を手に入れられる時代になりましたが、多くの情報から何が正しいかをしっかりと考え、正しく行動できる人になってください。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとございます。多感な中学時代には様々なご苦勞やご心配もあったことと思いますが、今、こうしてお子様立派に成

長され、未来に向けて着実に進もうとする姿に、喜びも一入のことと拝察いたします。3年間にわたり糎谷中の教育にご理解とご協力を賜りましたことに、この場をお借りし改めて御礼申し上げます。

最後になりましたが、本日の卒業式に、大田区長ならびに大田区教育委員会をはじめ多くの方々からお祝いの言葉を頂いております。お世話になった先生方や地域の方からもメッセージを頂戴しました。多くの方に支えられ今日の卒業式を迎えられたことに感謝し、卒業生のご多幸とご発展を心よりお祈りしまして式辞といたします。



「卒業生別れの言葉」

校庭の蕾も花を咲かせはじめ、春の準備を始める季節となりました。令和2年3月19日、私たち150名は糎谷中学校を旅立ちます。

1年生。桜の花咲く4月、新しい制服に身を包み、私たちは糎谷中学校に入学しました。出身小学校の人はもちろん、他の小学校の人たちともすぐに打ち解けることができました。入学から半年。9月に行われた野辺山移動教室。合計12キロ歩いたロングウォークでは、間をあげないように気を付けて歩きました。とてもつらかったですが、途中で食べたソフトクリームや友達とくだらない話をしたおかげで無事に宿舎に着くことができました。オリエンテーリングでは、班のみんなとルートを決めて、班対抗で時間内にめぐった場所でポイントを競い合い、場所ごとにポーズを決めて写真を撮りあいました。全ての行動で5分前行動をすることを心がけました。知らない場所での活動は不安が大きかったけど、班員で協力し合い楽しむことができました。初めての宿泊行事、4日間過ごすことで、友達との絆を深まりました。

2年生になると後輩ができ、先輩としての自覚が生まれました。部活や委員会でも先輩として活動することが増え、責任感が芽生え始めました。

2年生になって初めての行事、農業体験。私たちが毎日口にしてる野菜の苗を植え、収穫を体験させていただきました。前日が雨だったこともあり畑がぬかるんでいて、苗の植えつけや収穫をするのが大変でした。農家さんの苦勞を体験するとともに、野菜を育てる難しさを、身をもって感じました。

社会科見学で訪れた横浜。不要物を持ってきて、学年集会を開き厳しく注意を受けました。気が緩んでいた学校生活を切り替え、3年生に向け一生懸命取り組むようになりました。

職場体験で私は保育園を訪問させていただきました。3日間だけでしたが働くことの大変さ、大切さを身をもって体験することができました。中学校生活で1番力を入れていたのが、部活動です。長期休業中のときもほとんど毎日練習があり、大変でした。先輩方が引退し、私たちが

卒業生代表

部の中心となると仲間とぶつかり合うことも多くありました。私は吹奏楽部に所属していたので、毎年夏休みに開催されるコンクールがありました。中学校生活最後のコンクールでは、昨年度は銅賞でしたが銀賞を取ることができました。目標の金賞には届きませんでした。自分の力を発揮して納得のいく演奏をすることができました。3年間の部活動を通して、何事にも諦めない精神力や仲間と協力することの大切さなどたくさんのことを学ぶことができましたと思います。

3年生。最上級生となり、大きな責任を感じました。全ての学校行事に「最後の」という言葉がつくことを寂しく感じるようになりました。

体育祭。先輩方が築き上げてきた伝統を引き継げるよう、練習に取り組みました。学年種目のムカデ競争では、転ばないように全員で声を合わせ毎日朝練習に励みました。本番では各クラスが全力を出し切り、心に残る体育祭になったと思います。

修学旅行では班で行き先を決め、計画を立てます。話し合いを重ねるごとに、修学旅行が楽しみになりました。水面に映りとても輝いて見えた金閣寺。気温が高くなか、1時間近くかけて歩いて行った南禅寺。見た景色と思い出は今でもはっきりと心に残っています。私は班長ということもあり、全く知らない街での班行動には不安も大きかったけれど、それ以上に楽しい班行動になりました。宿舎でも友達と協力しながら、充実した時間を過ごすことができました。生徒発表会。クラスで自由曲を選び、毎日朝練習や放課後練習に取り組みました。テンポを遅くしてみたり、強弱を大きさにつけてみたり、ハーモニーをそろえたり、試行錯誤し本番に臨みました。舞台の上立つと緊張したけれど、練習どおりに歌うことができました。私たちの歌で、先生方や地域の方に、成長した姿を見てもらえたと思います。

生徒発表会が終わると、受験が近づいてきました。なかなか引き締まらなかったクラスの雰囲気もだんだんと引き締まり、多くの人が勉強に集中し始めました。苦手な教科を教えあったり、面接の練習をしたりと、お互いに協力し

(3面へ続→)

(→2面より)

合いながら受験を乗り越えることができました。そして今日、仲間とともに卒業式を迎えることができました。しかしコロナウイルスの影響で卒業遠足や球技大会なども中止になり、友達と過ごすはずだった大切な時間を失うことになり、悲しい思いで一杯でした。4月からの新生活ではこの思いをバネに頑張っていきたいと思います。

振り返れば3年間、たくさんの方にお世話になりました。私たちの見えないところで校内をいつも清潔にしてくださいました主事さん方。おいしい給食を毎日朝早くから作ってくださいました調理員の方々。困ったときは話を聞いてくれて時に厳しく、優しく接してくださいました先生方。いつも私たちを見守ってくれた地域の方々。15年間ずっと私たちの成長を支

えてくれた家族。受験で大変な時も何も言わずに優しく見守ってくれていました。これからもまだまだお世話になります。そして3年間、楽しいとき、辛いとき、嬉しいとき、どんな時も1番近くにいた友達。数えきれないほどの多くの人達の支えがありここまで成長することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、私たちは今日この糎谷中学校を巣立ち、それぞれの場所で新たなスタートを切ります。これから先の日々には、辛いことや苦しいこともたくさん待ち受けていると思います。しかし、そんな時は仲間とともに笑い、助け合った糎谷中学校での3年間を思い出して頑張っていこうと思います。



「送る言葉」

在校生代表

冬の寒さも和らぎ、空が春の日差しに満ち溢れてくる季節になりました。

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大によりこのような形での卒業式になってしまい、大変残念に思いますが、在校生一同が皆さんのご卒業を心からお祝いする気持ちに変わりはありません。いつも私たちを導いてくださった先輩方。部活動でも委員会でもいつでも優しく時には厳しくご指導していただきました。

10月に行われた生徒発表会での皆さんの歌声は美しくとても印象に残っています。朝練習や放課後練習の時間には、美しい歌声が聞こえ、思わず聞き入ってしまいました。一人一人が団結して最優秀賞を目指すその姿は、尊敬すべきものでした。特に全体合唱は、声量も大きく、各パートが綺麗に歌い分けできていたことで、やはり3年生の歌声が一番美しかったことを覚えています。

また、5月に行われた体育祭でも先輩方の、声をはりあげて仲間を応援する姿に、一致団結している様子が感じられました。ムカデ競走での一人一人が息を合わせ

て協力する姿には心から感動しました。団結力やお互いを尊重しあい協力すること。一度決めたら最後までやり通すという実行力。先輩方は数多くのことを教えてくださいました。

皆さんは行事以外でも学校の中心となり様々な場面で活躍されました。どの部活動も活気がありたくさんの方の功績を残してきました。これは3年生が部活動をより良いものにしようと、自ら中心となり、僕たちを引っばってくれた結果ではないでしょうか。委員会活動も、3年生が特に力を入れて頑張っていたことの一つだと思います。先輩方から教わった多くの事をこれからは僕たちが、後輩に伝えていきます。

どんな時でも笑顔が絶えなかった3年生。だからこそ、今日も笑って卒業してほしいと思います。最後になりますが、卒業生のそれぞれの進路先でのご活躍とご健康を心より願い、送る言葉といたします。

〈今年度は、在校生は式典への参加が無かったため、印刷物として卒業生に配布しました。〉



その他の
卒業式担当生徒

卒業生の歌「群青」 指揮 / 伴奏
校歌 指揮 / 伴奏
式次第揮毫

[入退場には、2月28日の放課後に吹奏楽部の1、2年生が演奏し録音した曲を流しました。]

卒業表彰

卒業式に先だって、優良卒業生と体育優良生徒の表彰を行いました。優良卒業生は、東京都産業教育振興会から贈られる賞で、技術・家庭科の学習に熱心で、実験や実習に積極的に創意工夫し、産業教育に関わる展覧会、発表会等に出品したり、研究に努めたりし、卒業後の進路に目的をもって意欲的に取り組んでいる生徒に贈られます。

体育優良生徒は東京都体育協会、体育努力生徒は東京都中学校体育連盟が行う顕彰で、在学中に学習によく励みながらスポーツ活動にも率先して取り組んだ生徒で、他の模範となる生徒に贈られます。

本年度の受賞生徒は以下の通りです。

優良卒業生 (3年A組)、 (3年C組)
体育優良生徒 (3年D組)、 (3年C組)





生徒の活躍の記録から

【令和元年度 大田区青少年表彰】

(3B)

《表彰理由》 蒲田消防少年団員として、防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。

(1 A)、 (3 C)

《表彰理由》 チェリーズバトンクラブのメンバーとして、第54回バトントワーリング関東大会に出場し、一般部門 U-18 の部(バトン編成)金賞を受賞した

[3月1日、大田区民プラザでの表彰式で表彰される予定でした。]

【バドミントン部】

令和元年度大田区総合選手権バドミントン大会

中学女子ダブルス 第3位

令和元年度大田区中学校バドミントン冬季大会

女子団体 第3位

女子ダブルス 準優勝

【人権作文コンテスト】

感謝状 (2 A), (2 A)

(2 A), (2 B)

(2 B), (2 C)

(2 C), (2 C)

(2 D), (2 D)

[2名の生徒が2月4日に大田区役所の表彰式に参加しました。これまでの糀谷中の取組が評価され、学校も法務省と東京法務局より感謝状を戴きました。]

【大田区区書感想文コンクール】

佳作 (1 B) 「仲間の大切さ」

(2 B) 「共感その先に」

(3 D) 「この本から感じとれたこと」

【大田区立中学校新聞コンクール】

学習新聞の部 優秀賞 (2C)

入選 (3C)・(1C)

【防災標語コンクール】

「もしもの時 かならず あそこで 再会ね」

(1 C)

【陸上部】

大田区中学校ロードレース大会

男子の部 第1位 8'33

第5位 9'12

【大田区立中学校教科作品展覧会】

1年家庭科「年末年始の食事」

(A), (B), (C)

(D)

2年家庭科「トートバッグ」

(A), (B), (B)

(B), (B), (C)

(C), (D), (D)

(D), (D)

3年家庭科「フェルト絵本」

(A), (A), (A)

(A), (A), (A)

(A), (B), (B)

(B), (C), (C)

(C), (C), (D)

(D), (D)

1年技術科「木材加工」

(A), (A), (A)

(A), (A), (C)

(A)

2年技術科「LED スタンド」

(C), (C), (C)

(B), (B), (B)

3年技術科「秋菊の栽培」

(A), (A), (A)

(B), (C), (D)

(D)



左のカットは、1,2年生が用意していた垂れ幕の原画の一部です。お世話になった3年生への感謝の気持ちを込めて、1,2年生も一生懸命に準備を進めていました。

会場準備も式前日に校庭開放に来た1,2年生が手伝ってくれました。

